

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教科	技術科	学年	1年
----	-----	----	----

1 学習の目的

体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	◆製図の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な製図の方法について理解する。 キャビネット図や等角図を用いて、立体図形を表現できる。
	◆木工用具について	<ul style="list-style-type: none"> さしがね、げんのう、のこぎり、きり、ヤスリなどの工具の扱い方を習得する。
	◆木材加工	<ul style="list-style-type: none"> 設計図にしたがって木材を加工し、作品をつくることができる。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品 技家総合ノート 用具の使い方
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具の使い方 作品製作の進め方
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物 授業態度 発表 進んで授業に取り組んでいる 作品製作の進め方

4 使用する副読本

題名	出版社
技術・家庭総合ノート 技術分野	明治図書

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教科	技術科	学年	2年
----	-----	----	----

1 学習の目的

体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	コンピュータ基礎	コンピュータの使い方や文書の作成方法、カメラの使い方等を習得する。
	生物育成	農作物の特徴について理解する。 農作物を栽培し、栽培方法等を習得する。
	エネルギー変換	身の回りのさまざまなエネルギーと、その変換の様子について理解する。家庭用電源について理解し、正しく使えるようになる。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	・生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	・作品 ・技家総合ノート ・用具の使い方
思考・判断・表現	・生活や社会の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	・用具の使い方 ・作品製作の進め方
学びに向かう姿勢	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・忘れ物 ・授業態度 ・発表 ・進んで授業に取り組んでいる ・作品製作の進め方

4 使用する副読本

題名	出版社
技術・家庭総合ノート 技術分野	明治図書

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教科	技術科	学年	3年
----	-----	----	----

1 学習の目的

体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	コンピュータ基礎	・ コンピュータの使い方や文書の作成方法、カメラの使い方等を習得する。
	プログラミング基礎	・ 手順にしたがって、自動的にものごとを処理する仕組みについて理解する。
	金属加工	・ 設計図通りに切断する ・ 加工を丁寧に進めている ・ 磨きを適切に行う

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	・ 生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	・ 作品 ・ 技家総合ノート ・ 用具の使い方
思考・判断・表現	・ 生活や社会の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	・ 用具の使い方 ・ 作品製作の進め方
学びに向かう姿勢	・ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・ 忘れ物 ・ 授業態度 ・ 発表 ・ 進んで授業に取り組んでいる ・ 作品製作の進め方

4 使用する副読本

題名	出版社
技術・家庭総合ノート 技術分野	明治図書